

今号の八尾プレ

童画家 徳治昭さん「八尾市文化賞」受賞記念 スペシャルプレゼント

徳 治昭さんの卓上カレンダー・壁かけカレンダー・TEAM YAOTONBO
Tシャツの中から、ご希望の商品を抽選でプレゼント!

「徳さん、おめでとう!」のメッセージを添えて、ご希望の商品を明記
のうえ、下記のアドレス宛にメールでご応募ください。

応募先 info@yaomania.jp 応募締切 2023年(令和5年)2月末

※当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。



徳治昭さん
Profile
フリーイラストレー
ター・童画家。八尾市
在住。アクリル画の
濃厚なタッチを主体
に、かわいらしい童
画を発表。2022年八
尾市文化賞受賞。



卓上カレンダー

4名さま



壁掛けカレンダー

3名さま



8名さま

TEAM YAOTONBO Tシャツ



TEAM YAOTONBO(チームヤオトンボ)は、
「TEAM EXPO 2025」／共創チャレンジに登録しています!

八尾市観光構造に適応した「人」主体のプロジェクト。

八尾市民はいつも機嫌よく、誰にでもウエルカムな気質です。それは「人に優しい」からです。また好奇心が旺盛で何にでも挑戦する姿勢が「ものづくり」の原動力になっています。そして商売に情熱的です。お客様の笑顔に励まされ、一生懸命働く姿を子供たちはみえています。魅力ある街は魅力ある人で成り立っています。TEAM YAOTONBOは魅力ある人々の集合体です。彼らの日常を、そして活動を、多くの方々に知って頂くこと、そして参画して頂く事、それが我々の共創チャレンジです。



▼ TEAM YAOTONBOの詳細はこちらから



新Next Yaomania(シン・ネクスト・ヤオマニア) 2023年 冬号(通算Vol.46) 発行日:2023年(令和5年)1月25日 発行部数:8,000部 企画 編集:株式会社シカトキノコ
発行:一般社団法人 八尾市観光協会 〒581-0802 大阪府八尾市北本町2-1 ベントプラザ20号 TEL 072-997-6226 http://www.yaomania.jp

新Next Yaomania 大阪・八尾の地域観光情報誌

Yaomania

【シン・ネクスト・ヤオマニア】2023年 冬号 Vol.46

TAKE FREE



今号の表紙: ライツテコンドークラブ 児玉梨華さん

※撮影時のみマスクを外しております

もくじ

02~04 | 巻頭特集「なまったカラダに活! 燃える運動特集(児玉梨華さん)」
05~07 | 巻頭特集「気軽にGO! 近場でカラダを動かそう」 08・09 | 特別企画「八尾駐屯地」
10・11 | 八尾ニュース「河内木綿藍染保存会」 12・13 | 八尾市文化会館情報「プリズム☆レポート」
14・15 | やおプロモーション 裏表紙 | 今号の八尾プレ「童画家 徳治昭/TEAM YAOTONBO」



梨華さんの熱い想い テコンドーにかける 夢はオリンピック選手！



「燃える運動特集」の表紙を飾ってくださったのは、八尾市在住の小学5年生 児玉梨華さん。梨華さんは空手とテコンドーで優秀な成績をおさめ、〈がんばる「八尾っ子」〉や〈文化の日表彰式典〉で表彰を受けられました。そんな梨華さんの夢は、テコンドーでオリンピック出場すること。巻頭では、競技に情熱を燃やす梨華さんと、それを支えるご家族や先生の想いをご紹介します！



Ⅰ 空手の「蹴り」を極めるために始めたテコンドー

— 空手とテコンドーを始めたきっかけを教えてくださいませんか？

梨華さん: 空手は、幼稚園の年長のときに、テレビのCMで見てカッコよくて始めたいと思いました。

お母さま: そのCMは空手の型をやっていたんですが、見学に行った道場が組手の道場だったんです。でも、本人は「こっち(組手)がやりたい」と言い出して。それで、組手のほうの空手を始めることになりました。

— 梨華さんは、型より組手のほうがいいのかと思ったんですか？

梨華さん: はい、戦ってるほうがカッコよかったので。

— なるほど！では、テコンドーは何がきっかけですか？

梨華さん: 空手で目標にしていた全日本大会で優勝するために、蹴りを強化したいと思ったので始めました。

お母さま: この子が目指していた大会は、蹴りが得点源になるポイント制の試合だったので、蹴りを極めたいということで、小学2年生からテコンドーも始めました。

— テコンドー1本に絞られたのには、何か理由があるのでしょうか？

お母さま: 空手も大好きでしたが、両立することで身体の負担が増えてケガをするようになってしまいました。それで、親子で話し合って、オリンピック競技ということもありテコンドーに専念することに決めました。

梨華さん: 申先生が出場されたオリンピックの動画を見て、すごいな、カッコいいなと思って。テコンドーを続けていたら、いつか自分もオリンピックに出られるかもしれないと思いました。

— オリンピックに出場された先生に、直接指導を受けておられるんで

すね。いま練習は、週にどれくらいされているんですか？

お母さま: 火・水・木・土・日の週5日間です。

— 梨華さんは、お友達と遊びたいと思うことはないですか？

梨華さん: 学校が早く終わる日は学校の友達と遊べるし、練習に来たらここの友達と遊べるので、大丈夫です。

お母さま: 道場に同じ学年の子がたくさんいるので、練習の後はいつも喋ったりじゃれ合ったりして楽しそうにしていますね。

— お友達と練習後に喋るのは、テコンドーのことですか？

梨華さん: いいえ、ぜんぜん違う話です(笑)

Ⅱ 得意な技は、「バンダルチャギ」と「ネリョチャギ」

— 梨華さんにとって、テコンドーの魅力はどこなところですか？

梨華さん: やっぱり、蹴りがカッコいいところです。それと、ミット打ちをしていたら、その日あった嫌なことも忘れてスッキリします。

— では、得意な技を教えてくださいませんか？

梨華さん: 接近戦のときの「バンダルチャギ」という外から内に蹴る技と、足を頭上まで上げて振り下ろす「ネリョチャギ」が得意です。

— 初めて間近でテコンドーを拝見して、蹴りが本当にダイナミックで驚きました。どんな時に「テコンドーをやっていたよかった」と思いますか？



梨華さん: オリンピックに出たいという夢を見つけられたことと、ここの仲間と練習したり合宿したりするのが楽しいので、やっていてよかったなと思います。

— 練習中は、どんなことを意識されていますか？

梨華さん: 何度も同じことを注意されるので、この蹴りはどうやって蹴るとか、自分でしっかり考えて蹴るようにしています。

— 試合の際に大切にされていることを教えてください。

梨華さん: 3ラウンド制なので、まずは有利になるように1ラウンド目を取ることです。全日本ジュニアの決勝戦では1ラウンド目を取られてしまいましたが、インターバルで先生が気持ちを落ち着かせてくれて、絶対に逆転するという気持ちで戦って、勝って1位になりました。

— 戦っているうちに、気持ちが先走ってしまうことはないですか？

梨華さん: たまになります(笑)

— ちなみに、先生方の指導は厳しくはないですか？

梨華さん: 練習中はすごく厳しいです。でも、終わった後は優しくしてくださるので、練習中は「がんばろう！」っていう気持ちになります。

お母さま: 強くなるためには厳しい指導も必要だと思いますし、こちらの先生は厳しさと優しさがちょうどいいと思います。

— 練習のあとは、みなさん何気なく楽しそうなのが印象的でした。

お母さま: 練習以外にも一緒にバーベキューや釣りをしたり、申先生は千葉への遠征の際には新大久保で韓国グルメを楽しませてくださったりと、いろいろな体験をさせてもらえるのもありがたいですね。

— テコンドーを通じて、経験や文化も学べるのはいいですね！

お母さま: 山下先生も、食事のことから体のメンテナンスのことまで気に掛けてくださるので、本当にいい先生と仲間に恵まれていると思います。

コーチから見た、梨華さんの強みとは！？

● 山下昭子コーチ

〈ライツテコンドークラブ〉代表。1996～2007年、全日本選手権大会で11回の優勝を経験。2007年北京オリンピック世界予選日本代表。



リーダーシップを発揮して、みんなを引っ張ってくれます。精神的にも強く、最後までやり遂げることができるタイプですね。これからは、学年が上の選手と戦う機会が増えてきます。緊張すると硬くなってしまうので、まずは勝ち負けより、練習したことを試合でしっかり出し切ってほしいと思います。テコンドーはポイントを取る競技ですから、冷静な判断が求められます。今は闘争心だけで前に出ている部分があるので、感情に振り回されず、試合を組み立てることが大切。今からそこを意識することで、大きな舞台で力を発揮できる選手になれると思います。

● 申準植コーチ

韓国出身。2000年シドニーオリンピック 銀メダリスト。「東京オリンピック2020」では、日本代表チームコーチとして、日本代表選手を指導。



練習中はとても一生懸命でし、年齢にしてはパワーがあります。ただ、少し柔軟性が足りないのも、そこはがんばってもらいたいですね。試合に出て1位になれるというのは、すごいことです。でも、梨華さんを含め子どもたちには「小さいうちに負けをたくさん経験しなさい」と話しています。子どもの頃に負け知らずだった子が、一度負けたことで勝てなくなったケースをいくつも見てきました。スポーツでは、負けることはとても重要です。なぜ負けたのかを自分でしっかり考えて次に生かすことが、梨華さんが目標にしているオリンピック選手への道につながると思います。

＼テコンドーの動きを体験してみよう！／

心も体も引き締まる！ テコンドーでエクササイズ

運動不足でなまったカラダに活！を入れるべく、山下昭子コーチにふだんのトレーニングで行っている体操や、テコンドーの動きを教えてくださいました。みなさんもぜひ自宅でも、無理のない範囲でチャレンジしてみてください！

できるポーズから
やってみましょう！



＼騎馬立ちのポーズ！／



▲柔軟ストレッチ

壁にかかととおしりを付けたまま、手を前につき、ゆっくり足を開いていきます。上に乗る人は足で下の人の太ももを外から軽く壁に押し付け、負荷をかける場合は上から押していきます。

壁にくっついて
行うのがポイント！



▲チュッチュンソギ

足を肩幅より大きく開いて膝を曲げ、つま先はまっすぐ前に向けます。大切なのは、深く腰を落とすこと。この姿勢が、内ももにしっかり効いてくれます！「そこから相手のみぞおちを打つように拳を繰り出すと、さらに運動効果が高まりますよ」。

◀ネリョチャギ

梨華さんの得意技でもあるネリョチャギは、柔軟性を生かしたダイナミックな蹴り技。足を大きく振り上げて振り下ろす、かかと落としのような技です。

▶縄跳び

縄跳びは、体力、跳躍力、ステップ、足首の強化につながる大事なトレーニング。失敗しないよう意識することで、集中力も身に付きます。「縄跳びは短時間でもたくさん汗をかいていい運動になります」。

ふだんは
12分やっています



初心者さんは、
壁や手すりにつかまって、
無理のないように！



あらためておさらい！

テコンドーとは

韓国発祥の格闘技。多彩な蹴り技が特徴で、「足のボクシング」とも言われます。ボディおよび頭部への足による攻撃を有効とし、試合では電子センサーの付いたプロテクターを着用。プロテクターに攻撃が当たるとでポイントが入ります。「キョルギ(組手)」と「プムセ(型)」の2種目があり、オリンピックにはキョルギが採用されています。

取材・撮影協力 ライツテコンドークラブ

大阪市内の2拠点(鶴見区、東成区)で展開するテコンドー教室。オリンピックを目指す競技者はもちろん、健康促進やダイエットなど、それぞれの目的や体力に応じてテコンドーを楽しむことができます。無料体験・入門・見学は随時募集中しています。ご希望の方は事務局までお問い合わせください。

本部道場/事務局
大阪市鶴見区諸口5-5-1 スタジオライツ
06-7492-8929
reiz.taekwondo.club@gmail.com



気軽にGO！近場でカラダを動かそう



初心者向け
プログラムもあるので、
運動経験のない方も
お気軽に！
ドイツ発祥の「DEEPWORK」を担当
する、フィットネステープの巽さん

「暗闇ワークアウト」が 体験できる貴重なジム！

【暗闇ワークアウト】

24時間利用できるマシンや、スタジオ、プールをワンフロアに集積し、露天風呂も備えた大型施設。幅広いプログラムの中でも「暗闇ワークアウト」は人目を気にせず集中でき、ミラーボールや音楽が気分を盛り上げてくれると人気です。シンプルな格闘技の動きや走る、跳ぶなどの有酸素運動の動きを交互に行う「カーディオキックボクシング」で効率よくシェイプアップできますよ！

「ヤオマニアを見た」とお伝えいただくとお得にご入会いただけます。詳しくはお電話で！<2月15日(水)まで>



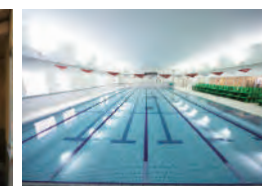
JR久宝寺駅 徒歩4分

ルネサンス久宝寺

八尾市龍華町2-2-4
ゼビオスポーツタウン久宝寺内
☎ 072-923-1888 (木曜定休)



詳細は
こちら



プロテインや青汁を
販売するサプリメント
サーバーを導入。

JR久宝寺駅周辺

大人だって バク転したい！

元五輪選手が教える、大人のためのバク転教室

フリースタイルの日本代表としてトリノオリンピックに出場した、水野剣さんが代表兼コーチを務めるアクロバット施設。バク転インストラクターの資格を所有し、バク転や宙返りなど技の習得をサポートします。安全対策も万全で、競技用トランポリンの上で体操競技の練習用ベルトを装着し、つないだロープで講師が身体を引き上げるので、恐怖心を持つことなく自分のイメージした動きがとりやすいとか。そうした成功体験を重ねることで、誰もが一度は憧れたことのあるバク転がマスターできます。体操教室のほかに大人のためのダイエット&ボディメイク教室も人気。



JR久宝寺駅 徒歩8分

Airwing

八尾市跡部本町4-2-36
☎ 090-5686-9541 (木曜定休)



詳細は
こちら



子どもの頃、憧れた
バク転ができるように

寒くてお出かけが面倒なうえに、クリスマスやお正月の食べ過ぎも気になる頃。運動不足や体重増加が気になりがちなこの季節だからこそ、思い切ってカラダを動かしてみませんか？ しっかり動いて気持ちよく汗をかけば、心も体もリフレッシュ！ぜひ、おうちの近くで通いやすいところ、興味のあるところをチェックして、足を運んでみてください。



代表の水野さん

近鉄八尾駅周辺

幅広いメニューが魅力！ 初心者にもやさしいジム

女性限定レッスン
【SHIRITレ】

地域密着型ジムとして幅広い世代に親しまれているコ・スパ八尾。ヨガやエアロビクスなどでは初心者からレッスンに慣れている方までレベルに合わせて細かくメニューが分けられ、誰もが自分にピッタリのレッスンが受けられます。お尻に特化した「SHIRITレ」は、専用バンドを使用して強度を変化させながらお尻まわりの筋肉を鍛え、理想的な美尻を完成。筋肉の使い方が上手になり、姿勢改善にもつながり、お尻から美と健康を叶えてくれます。



近鉄八尾駅 徒歩5分

コ・スパ 八尾

八尾市光町1-37

☎ 072-995-2200 (火曜定休)



「SHIRITレ」は骨盤も整え
姿勢改善にもつながります

詳細は
こちら

「SHIRITレ」
担当の吉村さん

「この浮遊感 クセになる！」

楽しくて気持ちいい、 “吊られる”新感覚ヨガ

【ハングヨガ】

ヨガをはじめ、ピラティスやマスタートレッチなど多彩なプログラムが魅力。中でも珍しいのが、ハンモック状の布を使う「ハングヨガ」。床の上では難しいポーズもとやすく、体が硬い方にもおすすめです。ストレッチや逆転のポーズなど気持ちよく体を動かして、最後は布にすっぽり包まれて癒しの時間。心も体もスッキリ整う、至福の体験をぜひ！



インストラクターの
中野さん、miwaさん

少人数だからリラックス
してレッスンできます！



詳細は
こちら



近鉄八尾駅すぐ

PLAYoga (プレイヨガ)

八尾市東本町3-6-13

☎ 072-990-0887 (水曜定休)

正しい筋トレで 体は確実に変化する！

痩せたい、鍛えたい、体を動かしたいなど目的はさまざまですが、ここではジムやマシンに慣れていない方もスタッフが在籍、目的に合わせてトレーニング方法をサポート。効果的なトレーニングをすることで、無理なダイエットや食事制限をしなくても引き締まった健康な体づくりがめざせます。継続によって、よく眠れる、仕事や運動のパフォーマンス向上、からだの痛みが軽減などの変化を実感！

近鉄河内山本駅 徒歩3分

MJGYM 山本店

【MJGYM山本店】八尾市東山本町1-3-8

【MJGYM中田店】八尾市中田3-9-1-2F

【MJFIT山本店】八尾市本町7-2-25

☎ 072-921-3501

詳細は
こちら



アスリートも指導するオーナーの神さんと、脱毛サロンなども運営する麻衣さん



今までの筋トレで
効果がなかった方もぜひ！



「気分もお尻も アゲていこ！」



「トランポリンX 銭湯」最高！」

JR志紀駅周辺

テンポの良い音楽に合わせた 非日常的な動きが筋肉を刺激！

【UBOUND(ユーバウンド)】

日本最大級の温泉情報サイト「ニフティ温泉 年間ランキング」にも選ばれた、八尾温泉 喜多の湯に併設するフィットネスクラブ。2つのスタジオでは多くのレッスンが開講されています。今回紹介する「ユーバウンド」は、ミニトランポリンの上で音楽に合わせてダイナミックに動いて体幹や下半身を強化するエクササイズで、膝や足首等への負担が少ないとか。会員になると喜多の湯も入り放題なのでトレーニング後は風呂で完全リフレッシュを。



JR志紀駅 徒歩5分

ONFIT

八尾市二俣1-8

☎ 072-976-4128 (火曜定休)



ユーバウンドは60分で
400~900kcalを消費！

詳細は
こちら

リーダーの田淵さん

憧れのアイドルの 振りをマスターしよう

こちらでは大人気のK-POPアイドルの振り付けを1ヶ月ほどでマスターしていきます。クラスごとに課題曲は変わり、それぞれ振り写しのパート練習を重ねて躍り込めば、大好きなアイドルの曲が完コピ！「ダンスを楽しむこと」を最大の目的としているスタジオだから、優しく丁寧な指導で自然と体づくりができ、ダンスで自己表現する楽しさも学べます。また日頃の成果を発揮する発表会やイベントが多く用意され、モチベーションを引き出します。

親子で通う人も多く
ここで友だちになることも

代表の
sherryさん



「K-POPダンスを 完コピ！」

日常とは違う動作で、 使わない筋肉を刺激！

プロ選手も在籍する本格ジムながら、初心者やダイエット目的の方まで幅広く対応。キックやパンチの動きはふだん使わない筋肉を刺激し、全身をバランスよく、しなやかに引き締めます。そして何より、力いっぱいミットを打つ気持ちよさ！日常のモヤモヤが吹っ飛ばこの爽快感に、ぜひハマってみてください。まずは、誰でも気軽に参加できる「ビギナークラス」がおすすめ。

キックボクシングで
非日常体験を楽しんでください！

代表の
藤田さん



「爽快ミット打ちで ストレス発散！」

南部エリア

八尾市沼

八尾キックボクシングジム
心将塾

八尾市沼4-6

☎ 090-7755-6136

(定休なし)

詳細は
こちら



河内山本駅周辺



系列店では「食のジム」も展開



大松桂右市長インタビュー

災害対策や賑わい創出に向け、お互いの強みを生かして取り組んでいく。

2022年度、八尾空港に隣接している八尾駐屯地は創立68周年を迎え、八尾駐屯地に隊本部を置く中部方面航空隊創隊は60周年を迎えます。その記念行事として、11月には「エアーフェスタ2022」が開催されました。自衛隊の活動に関しては、災害救助における働きや、日本を取り巻く安全保障環境の変化など、昨今大きな注目が集まっています。そこで今回は、大松桂右市長に地元自治体の長として八尾駐屯地に期待することなどを伺いました。

八尾市にとって、自衛隊の存在とは

——「エアーフェスタ」の祝賀イベントに出席され、どのような感想を持たれましたか？

3年ぶりの開催は、地元市としても嬉しいところです。式典を拝見して、災害対策等も含めてしっかり取り組んでいただいている心強さを感じました。また、市民の皆さんはもちろん、自衛隊ファンの方が大勢いらっしゃることも再認識できました。

—— 八尾市と八尾駐屯地は、どのように連携しておられるのでしょうか。我が国の平和を守り、安全を保つ自衛隊の存在は、八尾市にとって重要なものであり、ひとつの魅力であるとも言えます。八尾駐屯地の皆さんは地域との交流も積極的に行っておられますので、我々としても協力関係を意識し、自衛官募集の懸垂幕の掲示や、自衛隊退職者を中心とする「公益社団法人隊友会」と協定を結ぶなどしています。特に自然災害への対応をはじめとした実践的な危機管理体制づくりや防災力向上については、引き続き連携を強化していきたいと考えています。

—— 自衛隊との連携は、市民生活の安全にもつながりますね。

議員時代に東日本大震災で被災した岩手県の陸前高田市を訪ねた際も「自衛隊さんは頼りになった」というお話を現地でお聞きしましたので、災害時は自衛隊の存在は非常に大きな力になると思います。駐屯地に隣接する八尾空港は重要な防災拠点でもありますから、その点でも、自衛隊と足並みを揃えていきたいという思いがありますね。

万博や今後に向けて、駐屯地に期待すること

—— まちの賑わい創出の観点から、八尾駐屯地に期待されることはありますか？

八尾空港の西側に半世紀近く手つかずになっていた約3万坪の土地があるのですが、いよいよこの土地の活用方法を検討することになりました。3万坪という広大な土地を、周辺地域のまちづくりに寄与する形でどう活用する



か。八尾空港や駐屯地の立地も含め、大きな視野で考えていきたいと思っています。

—— その土地が活用されると、八尾空港周辺が大きく変わりそうですね。

八尾空港は高速道路や幹線道路に近く、八尾富田林線という防災道路もありますから、防災に強いまちづくりの視点も入れながら、賑わいの創出や地域活性化に取り組んでいきたいと考えています。2025年の大阪・関西万博も見据えて、市街地にある空港という利点を生かしていけたらいいですね。

—— 大阪・関西万博に向けた計画などがありましたらお聞かせください。八尾市は万博会場に建設される「大阪パビリオン」の展示ゾーンに、自治体として唯一、出展が認められています。中小・スタートアップ企業を支援する企画ですので、八尾のものづくり企業さんには、その実力を全国、世界に発信できる場として活用していただきたいと思っています。八尾空港の利活用においても、まだアイデアレベルですが、万博での実用化が掲げられている「空飛ぶクルマ」のテスト飛行を八尾空港で行ったり、八尾空港西側跡地に空飛ぶクルマの開発企業を誘致したり、少しでも可能性があることは、国・大阪府・大阪市等と連携しながら、取り組みたいと考えています。

—— 空港がある自治体というのは、ひとつ強みではありますね。

万博に向けては、空港も含めて八尾が持っているポテンシャルをマネジメントして、しっかり八尾市を広く世界に売り込んでいきたいですね。—— 今後駐屯地に期待されることと、駐屯地のあるまちに住まわれる八尾市の皆さんに一言お願いいたします。

八尾市は市民サービスを高める手法のひとつとして、「三方よし」となる公民連携を進めていますが、自衛隊とお互いの強みを生かしながら、共に歩んでいきたいと思っています。市民の皆さんには騒音等でご迷惑をお掛けすることもあるかと思いますが、自衛隊は国を守る大切な任務を担っており、災害においても重要な役割を果たされますので、ご理解をいただきながら、良いかたちで共存できるよう、ご協力いただきたいと思います。



2022年11月20日開催！

「エアーフェスタ2022」レポート

3年ぶりに一般開放して行われた「エアーフェスタ2022」。地域の皆さんや航空機ファン・自衛隊ファンなど約6,300人が来場したイベントの様子をレポートします。

前日までの天気予報は雨、当日朝もまだ雨...という状況でしたが、プログラムが始まる10:00には薄日も差すお天気に。決行の決め手となった「中部方面管制気象隊」の予想が見事に的中しました。

祝賀イベントでは来賓の挨拶や紹介などが行われた後、観閲飛行が披露されました。多用途ヘリコプターUH-1Jなど13機が、上空に飛び立つ姿は圧巻。美しい隊列を組んで、八尾の空を飛行しました。続いて音楽隊による演奏や格闘展示、バイクドリルなどのアトラクションも披露。ラップ吹奏では、日常に使用される曲が演奏され、起床から食事・就寝まで、駐屯地での一日の生活を伺い知ることができました。

訓練展示では、戦車などを用いた模擬戦を実施。敵の陣地を攻



撃する想定で、バイクによる偵察、ヘリボーン部隊の投入、戦車による射撃などが行われました。空砲を撃つ「ドーン」という音は、耳をふさいでも体に響くほどの衝撃。模擬戦とは言え、すさまじい迫力がありました。

そのほか、74式戦車や大型輸送ヘリCH-47Jの体験試乗、車両や航空機の展示、VR体験など多彩なプログラムが実施され、雲が晴れた青空のもと、会場はイベントを楽しむ人々の笑顔であふれていました。

「エアーフェスタ2022」を通じて、国を守るという自衛隊の仕事に触れるとともに、その活動に従事する隊員の皆さんをより身近に感じられるイベントとなりました。



模擬戦での戦車による空砲射撃



一般開放での開催は3年ぶり



13機のヘリコプターによる観閲飛行



グッズ販売や模擬店なども盛況

晴天に恵まれ、多くの人で賑わう会場

抽選で実施された戦車の試乗体験

日々の訓練成果をご覧いただき、活動を理解していただく機会に。

中部方面航空隊本部第1科広報班
(八尾駐屯地広報班)

広報班長 高倉 昭さん

陸上自衛隊
八尾駐屯地に
関する情報はこちら



今回の「エアーフェスタ2022」に関しては、コロナ禍で希薄になりつつある駐屯地と地域の絆の再構築を、という想いで臨みました。我々は万が一に備えるため、日々訓練を欠かすことができません。ヘリコプターの騒音等でご迷惑をお掛けしておりますが、この催しを通じて訓練の必要性をご理解いただければ幸いです。

八尾駐屯地は、2府19県を担当する中部方面航空隊と、近畿2府4県を担当する第三飛行隊が駐屯しています。ヘリコプターによる航空偵察、空中機動(人員・物資の輸送)等を主な任務とし、災害発生時には撮影装置を搭載したヘリで情報収集なども行っています。

「南海トラフ地震」発生時、八尾駐屯地は重要拠点になると考えられます。そのため、人命救助、物資輸送、インフラ復旧支援など幅広い任務を行う基盤を整えるとともに、さまざまな状況を想定した訓練を実施しています。

駐屯地には万一の事態に即応できるよう隊員が常駐し、勤

務する約600名の隊員とその家族の多くも八尾市内に居住しています。有事の際には、我々自衛官は家族を残して任地に赴きます。その時が来ないことを願いつつ、何かあったときは、同じ八尾市民として自衛官の家族のことを気にかけていただけるとありがたいと思います。

我々の活動には自治体との協力が非常に重要であり、八尾市とは危機管理、地域振興などさまざまな面での連携を図ってきました。今後もより一層、市や地域との連携を図ることを重視していきたいと考えています。

PROFILE

大分県出身。15歳で横須賀の陸上自衛隊高等工学校(元 陸上自衛隊少年工学校)に入学。19歳で八尾駐屯地に着任し、八尾市民歴28年。「八尾は自然も歴史もある、いい街ですね。休日は、アリオ八尾や市民の森で過ごします。フレンドリーな八尾の皆さんのおかげで、関西弁もかなり上達しました」





八尾ニュース 河内木綿藍染保存会

先人たちが守り継いだ郷土の文化を、 若者へ、地域へ、未来へつないでいきたい。

河内地方に伝わる貴重な河内木綿文様の復元・保存・継承に努め、伝承技能者養成講座の実施や、綿花の栽培にも力を入れている「NPO法人河内木綿藍染保存会」。その活動は、八尾並びに河内地方の伝統文化の分野において、非常に大きな役割を果たしています。コロナ禍の中でも活動を続け、いよいよ2025年に大阪・関西万博の開催を控えたいま、河内木綿と河内木綿文様の未来について、同保存会の梅村保子さん、原田やよいさん、平野和美さんにお話を伺いました。

■歴史から消えつつあった河内木綿文様の存在

江戸中期に行われた大和川付け替え後、河内地方では綿花の栽培と、その綿を使った手織布（河内木綿）の製造が盛んに行われていました。しかし明治時代に入ると、機械化に適した安価な輸入綿におされ、河内木綿は姿を消していきます。その文様の復元に努めたのが、河内木綿藍染保存会創業者現名誉会長の村西徳子さんです。河内木綿文様の研究者 辻合喜代太郎先生と出会い、手ほどきを受けながら、地域の蔵などに残る古布から柄を描き起こし、型に残す活動をされました。その想いを受け継ぎ、現在は梅村さん、原田さん、平野さんを中心に活動を継続。2010年からは八尾市内に「夢のコットンロードin佐堂」という畑を作り、綿花の栽培も行っています。

副理事長を務める原田さんは、河内木綿文様の魅力を「おおらかさ」と言います。中河内と呼ばれるこの辺りの文様は大胆でおおらかなのが特徴で、「150年も前の文様ですが、触れるたびに新鮮な感動や発見があり、飽きることはないですね」と笑顔で語られます。

平野さんは「職場で偶然手にした村西の



梅村保子さん

本が、ここへ導いてくれました」と振り返ります。勤務していた中学校にあった『河内型絵』という本を見て、美しい写真とデザインに感動。「河内木綿の存在を初めて知り、奥付の住所を見て工房を訪ねたのが最初。それから体験教室に参加して、本格的に学ぶことになりました」。

「村西先生の展示をプリズムホールで初めてみたとき、青と白のコントラストに魅せられたんです。どうしても先生に教えていただきたい一心で、ここへ来ました」という梅村さんは、工房が開かれた当初からのお弟子さん。約30年にわたって河内木綿文様に携わり、現在は理事長を務めています。

コロナ禍では2か月の閉館や講座の延期なども経験。それでも講座を受講される生徒さんたちの学びの情熱は消えなかったと言います。しかし、「コロナなどの影響もあって、発表の場が少なくなってしまったのが残念ですね」と原田さん。これまで展示していた会館やイベントなどがなくなり、大きな作品を発表する機会が少なくなっているそうです。ただ昨年、八尾市文化芸術基本条例が制定されたこともあり、「これを機に、郷土の伝統工芸である河内木綿にもスポットを当ててもらえれば」と期待を寄せられます。



原田やよいさん



型の上に、染料を通さない糊を置く作業。糊の部分が白く文様として残ります。糊が乾燥したら染めの作業に。濃い色になるまで3回ほど染めます。右は、綿を糸にする糸紡ぎの様子。



村西さんは、バラバラの古布を並べて元の模様を想像しながら復元。日常の着物はほぼ残っておらず、嫁入り布団などから復元されたそうです。復元した型は100種以上を保存。

■若い世代や、地域団体との連携も積極的に

現在はほぼ従来どおりの活動を再開し、体験・見学に来られる方の受け入れも行っています。若い世代の参加もあり、地元の大阪経済法科大学は、河内木綿を使った商品開発を行ったことも。去年は、近畿大学や龍谷大学、神戸大学の学生が卒論のテーマに河内木綿を選び、取材に訪れたそうです。

ここ3年ほど、交流が続いているのが大阪府立農芸高校です。生徒主体の「ワタプロジェクト」のメンバーが、コットンロードでの綿花栽培に参加しています。昨年2月には、プロジェクトを立ち上げた現在大学生と、現役の高校生が藍染工房に集まり、先輩から後輩へ、活動の目的や想いを直接伝える場を作ることができました。

八尾を代表する伝統文化である河内木綿をさらに広く普及させたいと、さまざまな模索してきたアプローチのひとつが綿花栽培でした。中央環状線沿いの遊休地を有効活用し、きれいに整備することでごみの不法投棄を防ぎ、綿を収穫して河内木綿の振興につなげることができそうです。また、小学校で地域学習に取り組む際、実際に綿を育て、綿織りすることで学習が深まり、観光資源開発にもつながります。このような藍染保存会の思いを受け止め、学校教育で綿づくりに取り組んだのが八尾市立美園小学校。コットンロードの2年目、2011年から綿づくりを行っています。

綿花栽培は現在、畑のある美園小学校区の「まちづくり協議会」が運営を担い、NPO法人八尾市観光ボランティアガイドの会、河内木綿藍染保存会が関わっている形になっています。綿花栽培を始めて12年、地元の地域団体が活動を引き継いでくださったことについて、平野さんは「本当にありがたいこと」と感謝を口にします。

■いよいよ織り上がる、「本物の河内木綿」

うれしいニュースは他にもあります。コットンロードで収穫した約50kgの綿が、オーガニックコットンと混紡され、布が織り上げられることになりました。河内木綿は繊維が太く短いため、機械に掛からないことから大量生産に向かず、衰退したという歴史があります。しかし、さまざまな出会いや引き合わせがあり、河内木綿と、繊維の長い有機栽培の綿を合わせて糸を作り、その糸で織物を作るに至ったそうです。



平野和美さん

「私たちの作品は復元された河内木綿文様を彫った型紙で染めを行っていますが、生地は河内木綿じゃないの？と言われることがあったんです」と梅村さん。生地そのものが河内木綿だと思われることが多く、「本物の河内木綿じゃないと言われることもあって、残念な思いもしました」と言います。それがいよいよ、河内木綿を使った生地に、河内木綿文様を型染めできることになります。大切に育て、綿織り・綿打ちをして保管していた50kgの綿が、ついに布に織り上げられる日は、もう間もなくです。

■河内木綿と文様は、世界に誇れる八尾の文化

2025年に開催される「大阪・関西万博」は、世界各国の注目が大阪に集まる一大イベント。八尾に受け継がれてきた河内木綿の文化や歴史を、広く発信できるチャンスでもあります。

梅村さんは「企業さんとのコラボレーションや、八尾市が出展する大阪パビリオンなどに参加して、世界にアピールできる機会が作れたら」と語り、平野さんも「村西は過去にロシアのエルミタージュ美術館で2か月にわたって展示を行い、現地でも大きな反響があったと聞いています。河内木綿は八尾、日本が世界に誇れる文化だと思っていますので、この機会により多くの方に知っていただけたらうれしいですね」と期待を寄せられています。

郷土の中で生まれ、長い歴史を持つ河内木綿と河内木綿文様。それを次代に受け継ぐ活動について、お三方は口をそろえて「私たちは真ん中にいるだけです」とおっしゃいます。現在さまざまな土地で栽培されている河内木綿の種は、寺尾和一郎さんという方が大切に育て、守ってこられたもの。その河内木綿の種を使って育てる佐堂の綿畑は、地域の方や若者たちに引き継がれています。「先人たちが守り継いでくださったから、今の私たちの活動もあるんです」という原田さんの言葉とおり、さまざまな人の手と想いを介して、つながってきた河内木綿。その魅力は今なお色褪せることなく、時代を超えて多くの人に愛され続けています。

NPO法人河内木綿藍染保存会

〒581-0001 八尾市末広町1-10-10
072-923-1589
info@kawachimomen.com



公式ホームページ
はこちら



プリズムホールって 実は、●●できるんです！

2023年最初のプリズム☆レポートは、「実は、●●できるんです！」がテーマ。まだまだ知られていない、プリズムホールで“できること”をピックアップします。昨年8月のリニューアルでより充実した設備はもちろん、ワクワクする取り組みが盛りだくさん♪ 今年も、プリズムホールから目が離せません！



魅力的な企画を生み出す、職員の竹本さん、中神さん、井上さん、北芝さん(左から)

用事がなくても遊びに来てね！



実は、1日・1点から 展示できるんです！

1階 | オープンコーナー

地域アーティストや、市民の芸術・創作活動の発表の場として設けられたギャラリー。芸術文化に関わるものならジャンルを問わず、最短1日から、作品1点でも利用できます。作品を発表したいけど展示室はハードルが高い...という方も、ここなら夢が叶うかも！興味のある方は、ぜひチャレンジしてみてください。

「プリズムホールであなたのアートを輝かせよう！」

1階オープンコーナー（無料）と、4・5階の回廊ギャラリー（有料）等への出展者・出演者を募集します。（選考）

●展示期間：4月1日（土）～9月30日（土）

●応募締切：2月28日（火）

●応募資格：八尾にゆかりのある方（プロ・アマ不問）

※募集の詳細は公式HPをご覧ください



実は、打ち合わせできるんです！

2階 | 情報・交流コーナー



情報・交流コーナーのデスクは、短時間の打ち合わせや自主勉強にも利用OK！ レッスン後に発表会の打ち合わせをしたり、習ったことのおさらいをしたり、いろいろな使い方ができます。コイン式のコピー機も設置されていて、楽譜や台本のコピーにも便利です。



実は、お洗濯できるんです！

1階 | 楽屋通路

ホールで公演される方に向けて、シャワールームに洗濯・乾燥機を新設。ツアーで全国を回る劇団さんが洗濯機を持ち込まれるケースもあり、以前から設置のご要望があったそうです。12Kgの大容量で、衣装や裏方さんのTシャツまでたっぷり洗えます！



実は、“手ぶら”できるんです！

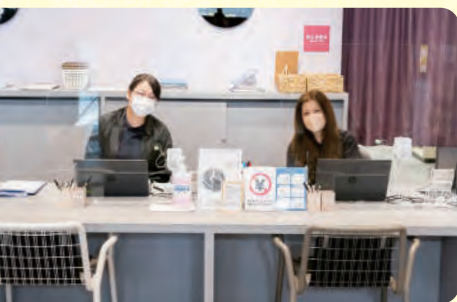
1階 | 裏通路



プリズムホールを定期利用される方に便利なのが、1ヶ月単位で使える長期貸し出しロッカー。コイン式よりお得な価格で、練習に使うCDデッキ、音源CD、シューズなどを保管できます。このたびのリニューアルでサイズが大きくなり、大きな荷物も収納できるようになりました！

実は、相談できるんです！

2階 | 情報・交流コーナー



情報・交流コーナーの窓口では、舞台の使い方以外にもいろいろな相談にのってもらえます。例えば、練習する場所を教えてください、アーティストを紹介してほしい、などなど。活動に関する相談ごとや情報収集は、気軽に窓口へ！



「アートのお役立ちカフェ相談会」 2月23日（木・祝）

①オープン相談会（11:00～/定員10名）
プリズムホールで展示や発表をしたい方に、方法や実例をご紹介します ※参加無料

②個別相談会
（13:30～・14:30～・15:30～/各1組）
芸術文化活動を行う方に、広報活動や資金調達などの相談会 ※参加費500円（ドリンク付き）

●2月2日（木）より申込受付（電話・メール）



実は、立ったまま&パパもおむつ替えできるんです！

2階 | ベビールーム

「小さいお子さま連れの方にも、気軽に文化芸術に親しんでもらいたい」と設置されたベビールーム。こちらはパパも入室可能です。おむつ替えシートは、立ったまま替えられるタイプも設置。3室ある授乳室はすべて個室で、中から施錠できるので安心です。ミルクを作るのに便利な調乳用温水器もあります。



夏休みに開催された「バックステージツアー」では、照明や音響機材の操作を体験。



1年を通じて実施する「子ども河内音頭講座」など、八尾の伝統芸能を体験。

実は、ひと休み できるんです！

4階 | トライアングルロビー



三角形の形をした、その名も「トライアングルロビー」。自動販売機とソファがあり、会議や研修の合間のひと休みにぴったりです。開放感のある空間でホッと息つけば、気分もリフレッシュ！

実は、子どもがワクワク・ ドキドキできるんです！

子どもたちに、本物の文化芸術に触れる機会を積極的に提供しているプリズムホール。地元の芸能文化を学ぶ「子ども河内音頭講座」をはじめ、舞台装置の操作やプロの俳優による演技ワークショップなど、感性や好奇心を刺激する多彩なプログラムを展開しています。子どもの頃の経験は、一生の宝物。ぜひプリズムで、さまざまな体験をさせてあげてください！



親と子のはじめての演劇体験 プリズムチャームプロダクションシリーズ「タジタジ大どろぼうとオロオロ魔法使い」でも、2月18日（土）公演後にバックステージツアーを実施。

八尾市文化会館 プリズムホール

八尾市光町2-40

営業時間 9:00～22:00

月曜日休館

（祝日の場合は翌平日）

TEL 072-924-5111

指定管理者：公益財団法人
八尾市文化振興事業団





万博会場屋外イベント広場イメージ 提供:2025年日本国際博覧会協会

万博をきっかけに、みんなで八尾をもっとええ街へ！ 一人ひとりが主役の万博がはじまります

いよいよ2025年大阪・関西万博の開催まであと2年。八尾市も地元自治体として、万博に向けたさまざまな準備を行っています。今回は「やおプロモーション・万博推進プロジェクトチーム」の高尾あゆみさんに、八尾市ならではの万博への取り組みについて、お話を伺いました。

各国のお国自慢から、世界の共通課題の解決へ

万博は「万国博覧会」の略称で、1851年のロンドン万国博覧会が始まりです。かつては国威発揚やお国自慢のイベントでしたが、近年は世界共通の課題解決をめざす場、そのためのコミュニケーションの場に変ってきました。私自身は、万博は新しい技術が生まれ、生活が便利になる「きっかけ」となるもの、世界の国々との文化交流ができる機会というイメージを持っています。

2025年大阪・関西万博は大阪で3度目、国内で6度目の万博となります。大阪・関西と開催地の地名がついていますが、事業としては国のプロジェクトです。大阪・関西万博が掲げる「いのち輝く未来社会のデザイン」というテーマを実現するため、SDGs達成への貢献や日本の国家戦略「Society 5.0」、「未来社会の実験場(People's Living Labo)」などのコンセプトが設けられています。

コロナ禍やウクライナ情勢など、世界中でさまざまな出来事が起こり、いのちについて考える機会が増えています。だからこそ、今回の万博のテーマはとても意義があり、真摯に向き合うことが大切だと考えます。

2025年の万博は、一人ひとりが主役

大阪・関西万博において、八尾市に求められる役割や、八尾市が参加するメリットは、機運醸成と波及効果の最大活用だと考えています。

開催期間:2025年4月13日(日)～10月13日(月) 184日間
開催場所:大阪 夢洲(ゆめしま)
テーマ:いのち輝く未来社会のデザイン

Designing Future
Society for Our Lives

大阪・関西万博には、一人ひとりが自分のできることを考えて行動する、そんな価値観が共有される機会になるように、「TEAM EXPO 2025」という共創を進める仕組みがあります。八尾市も「TEAM EXPO 2025プログラム／共創パートナー」として登録しており、その一環として、市民のみなさんに参加を呼び掛けているのが「80(やお)アクション」です。

「80(やお)アクション」は、万博を盛り上げ、共創によるまちづくりを推進し、市民のみなさんとともにSDGsの達成をめざす取り組みです。一人ひとりの身近な活動や小さな取り組みを「80(やお)アクション」として共有することで万博へとつながり、万博後もまちを良くしていくことを目標にしています。たくさんの方にご参加いただくために、80アクションのロゴデザインと、「17の目標と80のターゲット」を作成しました。

SDGsと言うととてもハードルが高く、自分には関係のないことと感じる方も多いと思いますが、もうすでに実践していることもあり、ちょっと意識を変えるだけでも、社会の変化につながります。皆さんの小さな活動の一つひとつを、より良い八尾に、より良い世界や未来につなげていくことが、このプロジェクトのめざすところです。

八尾市内からたくさんの共創やアクションが生まれるように支援したいですし、万博会場に設置されるイベント会場で八尾の魅力発信ができるようにオール八尾で取り組んでいきたいと考えています。

自治体で唯一、「大阪パビリオン」に出展決定！

万博会場には、8人のプロデューサーによる「いのち」をテーマにしたパビリオンや、参加各国等のパビリオン、12の企業・団体によるパビリオ



ンのほか、夢洲に作られる新駅のすぐそばに大阪府・大阪市による「大阪パビリオン(名称:大阪ヘルスケアパビリオンNest for Reborn)」が配置されます。「大阪パビリオン」はテーマを「REBORN」とし、「いのち」や「健康」という観点から、大阪の強みを活かした未来の医療技術などをワクワクしながら体感できる展示が予定されています。

「大阪パビリオン」内には、大阪の優れた中小企業・スタートアップの技術力や魅力を世界に発信するための「展示・出展ゾーン」というエリアが設けられます。「展示・出展ゾーン」では、万博開催期間の26週にわたり週替わりで展示が変わる予定で、参加を希望する中小企業等を支援するための事業企画「リボンチャレンジ」が26件認定されています。その26件のひとつとして、自治体では唯一、八尾市の事業企画が認定されました。これは、ものづくりのまち・八尾の魅力を広く発信するまたとない機会になると思います。

「リボンチャレンジ」の「REBORN」は、大阪パビリオンのテーマでもあり“人は生まれ変わる・新たな一歩を踏み出す”という意味が込められていて、すごくいいテーマだと思います。人生にはいろいろな時があるけれど、人はいつでも生まれ変わることができるし、何かをはじめることもできる。そんな、人を応援する強くてやさしいメッセージだと受け止めています。

八尾市が出展支援する企業募集については、4月以降に「80(やお)アクションホームページ」などで順次情報を公表する予定です。

大阪パビリオン出展 キックオフイベントを開催します

テーマ:ものづくりカレッジ「拡張万博の効果を八尾へ！」

日時:2月28日(火) 16:30～18:00

場所:みせるばやお 対象:市内事業者

申請は2月1日～電子申請。問い合わせ:産業政策課

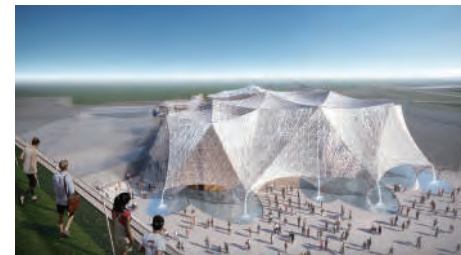
詳細は

こちら▶



八尾市の「リボンチャレンジ」も含めて、全ての「リボンチャレンジ」や参加企業の募集状況は、「大阪パビリオン 展示・出展ゾーン」専用サイトにまとめられています。さまざまなテーマが設定されているので、八尾市の企業さんが参加できる可能性が多くあるといいなと思って注目しています。

大阪パビリオン「展示・出展ゾーン」全体の参加企業募集情報はこちら



提供:(一社)大阪パビリオン 協力:2025年日本国際博覧会協会

万博後も、八尾には可能性がたくさん

大阪・関西万博の想定来場者数は、約2,820万人。海外からは350万人が訪日すると想定されています。リアルな会場だけでなく、バーチャル上でも多くの人々が大阪・関西に目を向ける機会となります。まさに、世界中の人に、八尾の魅力を知っていただくチャンスです。

八尾の地域資源やものづくり企業のチカラ、八尾でしかできない体験を発信し、観光誘客などの経済波及効果を生むことも目標になります。また、「空飛ぶクルマ」やその他の新しい技術が実証実験される中で、八尾空港などのリソースを活かし、まちが発展するきっかけとなる可能性も十分に期待できます。

万博は一過性のお祭りではなく、その後に数々のレガシーが引き継がれるもの。開催前、開催中、そして開催後を見据えながら、八尾市の成長とあわせ未来につながる取り組みを進めていきたいと考えています。

これまでの活動について

万博1000日前の機運醸成として、市役所本庁1階の番号案内版で万博参加を呼び掛ける映像を流したり、市内商業施設などで万博PRうちわなどの配布アクションを行いました。令和4年11月には、東大阪市で開催された「HANAZONO EXPO」に、市内企業と連携して「八尾市の健康まちづくり」をテーマにブース出展をするなど、さまざまな取り組みを進めています。



万博1000日前アクション



「HANAZONO EXPO『八尾の健康まちづくり』をテーマに出展」

800日前がやってきます！

2025年大阪・関西万博 開幕800日前

EXPO 800 Days to Go in Yao!

2月3日は万博開催800日前です。八尾にちなんで2月と3月を800日前月間として機運醸成に取り組みます。2月5日にキックオフイベントを開催するほか、期間中、さまざまなイベントやミyakumiyakudezainの原付ナンバープレートの交付などを予定しています。詳細は「80(やお)アクションホームページ」をご確認ください。

「#わたしの80アクション」で発信を

17の目標や80ターゲットを参考に、皆さんが取り組んでいること、取り組みたいことをInstagramで発信してください。

※「#わたしの80アクション」というハッシュタグを付けた投稿は、八尾市のWEBサイトなどで紹介させていただきます。あらかじめご了承ください。



やおプロモーション・万博推進プロジェクトチーム
後列左から一ノ本さん、高尾さん、
真田さん、穂満さん

4-1 学びを楽しんで、経験や知識をアップデートする
最終学歴より最新学習歴という言葉があります。アンラーニングや新たな学びを楽しんで、そんな姿子どもにも見せたいと思います。

10-6 自分の笑顔も相手の笑顔も大切に
笑顔に救われた経験が何度もあります。自分の笑顔が誰かの助けにもなるかもしれないし、まわりの人が笑顔でいられることも大切にしたいと思います。

市の万博推進に関する情報は
「80(やお)アクションホームページ」で随時公表▶
<https://80-yao-action.net/>

